

YAMA_HE_SAMMPO_IKOU

さんぽき
かみきた山歩記 -004

小処～逆峠周回

(逆峠 1411m)



逆峠から笹ノ峰へ向かう途中、南側の展望が開ける。奥の稜線右側の白くなっているところが弥山・八経ヶ岳付近

雪

の大台ヶ原。近畿在住の登山者なら、一度は歩いてみたい魅惑のルートではないだろうか。奈良にありながら、厳冬期（一番気温が低い2月あたりのこと）においては信州並みの深い雪を楽しめるエリア。わざわざ遠くに行かなくても、雪山を十分に堪能できるルートがたくさんあることは容易に想像できる。残念ながら、今のところ大台ヶ原ドライブウェイは冬になると閉鎖してしま

うので、実質入ることはできないのであるからもったいない…。ただ、ドライブウェイを使わず、下から歩いて大台ヶ原のエリアに近づくことはできる。どのくらい雪があるのか？どんな景色が広がっているのか？見てみたいと思ひ、上がったみることにした。

今回は、小処温泉奥のくらがり又滝付近にあるモノレールのレール沿いで逆峠まで上がり、笹ノ峰の尾根を経由して、もうひとつある小処温泉付近から伸びるモノレール沿いで下るという周回コースを歩くことにした。

9時、くらがり又滝の駐車場に車を停めて、いざ出発！遊歩道はところどころ凍っていてツルツル滑るので、慎重に歩く。くらがり又滝を過ぎ、少し進むと前方に大きな堰堤が見えるが、その右手の斜面にモノレールの発着駅がある。そこからひたすらレール沿いに上がる。ものすごい傾斜だ…。実際にモノレールに乗ったらかなりスリリングな気持ち味を味わえるだろう。余談だが、私は普段、

地形図（実際の地形を等高線で表したものの、ハイキングの際によく見るマップのようにコースタイムやトイレ・休憩所の場所などは記載されていないが、実際の地形がよくわかる地図）を持って山へ入るが、地形図に表れている斜面の斜度を実際に歩きながら感じることは少ない。というのは、急傾斜になれば登山道はつづら折りにつけられていることが多いからである。モノレールは、傾斜に対して直登で上がっていくようにつけられているので、地形図で見た斜度を生で感じながら歩くことができ、ある意味面白い。

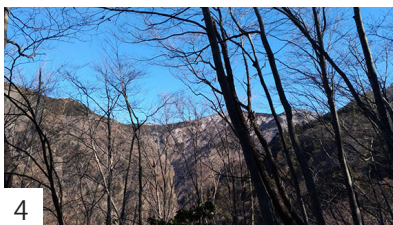
1：レール沿いはかなり急傾斜！モノレールに乗ったらスリリングだろうな… 2：ところどころに巨木が現れる。 3：くらがり又滝奥の堰堤右側にモノレールの発着駅がある 4：高度が上がってくると、左手に大台のドライブウェイ方面が見えてきた。木の葉が落ちる冬は木立の向こうに山並みが見えるので、夏とは違った景色が見られる。 5：急傾斜が終わり、気持ち良い稜線が続く。雪の深さは、だいたい膝下くらい



3



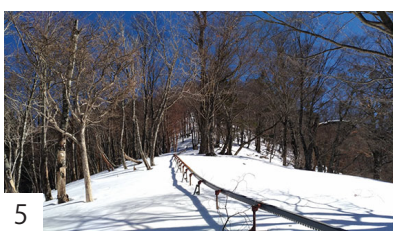
1



4



2



5



竜口尾根がよく見える。アップダウンを繰り返しながら続く先は又剣山。ここからだいたい2時間くらい。

1時間ほど上がると、大台ヶ原ドライブウェイ方面の展望がチラチラ見えます。冬は広葉樹の葉が落ちて視界が開けるので、夏では見えない風景が見えるのも、良いところである。

さらに1時間ほど歩くと、急登は終わり気持ちのよい森歩きのようになる。雪は深くなり、だいたいスネ位の深さ。ケモノたちしか足を踏み入れていない雪の地面に、自分の足跡をつける。雪歩きの醍醐味である。

12時、逆峠到着。お昼ご飯とする。今回も冬の定番スパイシーヌードル!と思ったら、スパイシー「焼きそば」だった。温かいもので体ポカポカさせようとおもったのに…。

逆峠のあたりは、ゆるいアップダウンはあるものの比較的開けていて、スノーシューコースとしても良さそう。

ノンビリお昼休憩したあと、笹ノ峰の尾根に向かう。30分ほど小さな登り下りを繰り返して進むと、尾根に到着。ここからの景色は絶景!ギザギザした竜口尾根や弥山・八経ヶ岳より南側の奥駈道がよく見える。ずーっと奥まで続くやまなみは、遠く熊野までつながっている。

逆峠から約1時間ほどで笹ノ峰。そこからは、尾根通しに歩いていくと、西大台と小処温泉をつなぐ登山道と合流する。タヌキかアナグマの足跡の横に、それよりもはるかに大きな動物の足跡があった。この辺りはよくクマが出ると聞いているので、ひよっとして…。3日ほど前に降雪があった、それ以降に踏んだ跡なので、つい最近通ったんだらうなあ。登山道と合流してから10分ほど歩くと、右手にモノレールの



- 1: お昼ご飯は、タイ風スパイシー焼きそば
- 2: 木に半寄生して生きていると考えられていたヤドリギ。実は生体にはいい影響を与えているということが最近分かってきたらしい
- 3: 奥のほうに見える山並みは大台ヶ原。手前に西大台の森が広がる
- 4: 小動物の足跡の横に、明らかに大きな動物の足跡…クマだろうか?

【編集後記】

ちょっと、季節外れな報告になってしまいましたが、雪のお山もとっても素敵なので、紹介させていただきました☆

今、村の方から譲っていただいた「谿(タニ)」という本を読んでいます。奥吉野研究会というところが発行していて、上北山村の歴史や古い習慣・年中行事ほか、村にまつわる色々なことが詳しく載っています。現在も続いているしきたりが、なぜ起こったのか?など、興味深いことがたくさん載っていますごく面白い!古い話を聞いたり、読んだりするのは、やはり大切なな…と感じる今日この頃です☆

行政便り 上北山村通信「山へ散歩いこう」
 発行 地域おこし協力隊 小谷雅美
 発刊 偶数月第二水曜日
 連絡先 090-2064-4971

*小谷雅美協力隊員の山行記録は、ブログでも読めます「山へ散歩いこう」で検索してみてください☆



*歩行距離約8キロ・歩行時間(休憩含む)5時間30分